

**製品名: TSSK 6 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19377**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト マウス ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用****希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	TSSK6 TSSK6; SSTK; FKSG82; Testis-specific serine/threonine-protein kinase 6; TSK-6; TSSK-6;
別名	Testis-specific kinase 6; Cancer/testis antigen 72; CT72; Serine/threonine-protein kinase SSTK; Small serine/threonine kinase
遺伝子 ID	83983.0
SwissProt ID	Q9BXA6
免疫原	ヒト TSSK 6 の内部領域から得られた合成ペプチド。

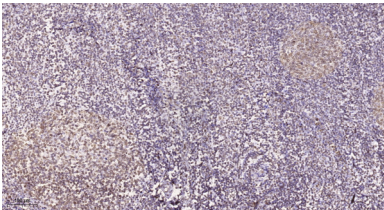
**背景**

このイントロンを持たない遺伝子は、CAMK (カルシウム/カルモジュリン依存性) セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーをコードしています。コードされているキナーゼは幅広い発現パターンを示しますが、生殖能力への影響から精巣特異的であるとされています。非常に類似したタンパク質をコードする遺伝子を欠損した雄マウスは不妊となり、形態学的に異常な精子を呈します。[RefSeq 提供、2012年1月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 精子の生成と機能に必須。減数分裂後のクロマチンリモデリングにおける DNA 凝縮に関与する。PTM: 自己リン酸化。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット: 熱ショックタンパク質 HSPCB、HSPA8、および HAPA1A と相互作用する。これらの相互作用は TSSK6 キナーゼ活性に必要であると考えられる。組織特異性: 精巣で高発現。ヒト結腸、小腸、卵巣、前立腺、胸腺、脾臓、および末梢白血球でも低レベルで発現する。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。2、抗体を 1:200 に希釈した (4°で一晩)。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。